

社会福祉法人育桜福祉会 第4生活ホームいくおう

地域連携推進会議 議事録（公表）

以下の通り、地域連携推進会議を開催いたしましたので公表します。

開催日時	令和8年1月7日（水） 14時00分より15時30分まで	
会場	第4生活ホームいくおう	
運営事務局	第4生活ホームいくおう 管理者	
（2名）	第4生活ホームいくおう サービス管理責任者	
参加者 (4名)	役割	立場
	入居者を代表する者	利用者A
	地域の関係者	連携施設（通所施設）利用者家族
	法律に関する知見のある者	利用者B 後見人
	障害福祉に知見のある者	指定特定相談支援事業所 相談支援専門員
欠席者 (2名)	行政担当者	幸区地域みまもり保健センター担当
	利用者家族	利用者C 家族
議事内容		
1 開会の挨拶（趣旨説明）	<p>初めに運営事務局より定刻で開会が宣言され、管理者より地域における居住の場であるグループホームは障害のある方の住まいとして日々の生活を支援している。暮らしの場であるが故の閉鎖性や密室性により、障害者虐待が起きやすい構造にあることも指摘されている。グループホームの生活の様子を地域の方に見ていただき、知っていただくとともに、障害者虐待防止の取組み、金銭等管理の仕組み、利用者からの苦情受付の仕組み、災害時への備えなどについてもご紹介することで開かれた事業所運営を目指していきたい旨の趣旨説明が行われた。</p>	
2 自己紹介	<p>運営事務局及び参加者が各自自己紹介を行い、管理者よりそれぞれの立場・役割についての説明が補足された。</p>	
3 事業説明	<p>管理者より利用者が安心して生活するための仕組みとして備える虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会の取組みを紹介し、続けて金銭等管理の仕組み、職員体制、職員との情報共有及び人材育成に関する事項について説明された。</p>	
4 事業所見学	<p>サービス管理責任者が事業所内を案内し参加者に見学していただいた。利用者A</p>	

からはホームでの生活が楽しいことと、週末にはヘルパーサービスを利用した外出が楽しみになっていることの説明があった。

5 質疑応答

連携施設利用者家族より食事に関する質問が寄せられ、管理者より食事の品質の安定性と加齢に伴う食形態配慮や栄養バランスの面から、現在は配食サービスを導入していると説明があった。

続けて、入居者の親のかかわりの頻度や法定後見人の必要性について質問があった。

利用者B後見人より成年後見制度に関する概要の紹介がされ、指定特定相談支援事業所 相談支援専門員より、手続きに関する概要説明がなされた。併せて、管理者よりグループホームだけで生活を24時間完結させるのではなく、複数の関係機関が連携し支援チームで生活を支えていることが説明された。

利用者B後見人より職員の苦労をねぎらうコメントがあり、サービス管理責任者より、利用者の状況の変化に対応するために支援内容も常に更新している旨が説明された。

6 閉会挨拶

管理者より、貴重な意見交換なったことの感謝を述べ、定刻で閉会した。